



わたしの一冊・わたし的一本

風の谷のナウシカ

宮崎 駿 監督 ウォルト・ディズニー・ジャパン / 1984.3 公開

すい しゃ 推せん者	北里大学海洋生命科学部	じゅんきょうじゅ 准 教授	みやけひろし 三宅裕志 先生
おすすめ	<input type="checkbox"/> おためし	<input checked="" type="checkbox"/> お気に入り	対象：小学4年生以上
三宅先生が担当した さがまちカレッジ	水族館の仕事～北里大学海洋生命科学部夏の体験講座～ (2013年～2019年8月)		

ジブリ映画の中で一番はどれかと言われたら、私は何も迷うことなく「風の谷のナウシカ」と答えます。この映画では、腐海におびえながら生きているそれぞれの国の人々を描いていますが、ナウシカは腐海がこの世界を浄化しているから、自然を壊したらダメだと伝えていています。この地球ができてから、すべて生物の働きによって今の環境ができあがっています。人間のワガママで、大規模な戦争や自然破壊が起こってしまうと、地球の生き物の繋がりバランスが崩れて、いとも簡単に地球が腐界のようになってしまうでしょう。地球上の生物はすべて何かの役割を持っていて、全ての生物と共生することが大切だと教えてくれるところが、この映画の素晴らしさの1つだと思います。

おすすめ：先生が担当した講座に関する勉強ができる作品
 おためし：新しいことを勉強する良いきっかけになる作品
 お気に入り：先生の好きなことに関する作品や、先生の心に残る作品